

平成 30 年 7 月 17 日

京都市教育長 在田正秀 様

京都市地区中学校教科書選定委員会

委員長 吉川 康浩

平成 31 年度から平成 32 年度まで京都市立中学校及び義務教育学校（後期課程）
において使用する「特別の教科 道徳」教科書の選定について（答申）

別紙のとおり答申いたします。

京都市地区中学校教科書選定委員会 答申

「特別の教科 道徳」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 道徳科の目標を達成するために、生徒の発達段階に即し、学習のねらい（目標）や振り返り活動等が適切に設定されるなど、生徒の道徳的な成長を促し、実感できるよう工夫・配慮されていること。
- 2 言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習など、生徒が主体的・対話的に道徳的価値について、広い視野から多面的・多角的に学べるよう多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が進められるよう工夫・配慮されていること。
- 3 内容項目が網羅的に取り扱われており、教材の系統性・発展性が工夫されていること。また、他教科、総合的な学習の時間、特別活動とともに、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に加え、他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 4 教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮されていること。
- 5 生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮されていること。
- 6 基本的人権の尊重の視点からの内容が積極的に取り上げられ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう工夫・配慮されていること。
- 7 表記や表現について、文章や挿絵、写真等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい道徳」

各教材の冒頭に、その教材で考えるテーマが生徒に投げかけるような表現で示されるとともに、各学年で5教材程度、1～2コマ漫画を導入部分に掲載することで主題を捉えやすくしている。また、各教材末には「考えてみよう！」として、道徳的価値に迫るための中心発問や自己を見つめる発問、補助的な発問が段階的に提示されており、主体的に学習を進めやすく、また、教材テーマや導入漫画を終末の中心発問等と関連させて振り返りで活用することで、自己を見つめ、考え、議論する手立てとなっており、よく工夫されている。

各教材には1箇所、「つぶやき」として生徒が感じたことや考えたことについて自由に書き込めるメモ欄が用意されている。また、各学年巻頭には、「今の気持ちを書き留めておこう」というコーナーが設けられるとともに、巻末には、切り離し可能な学習記録（自己評価）の特設ページが3枚用意されており、学期ごとに心に残った教材を振り返ったり、次学年や卒業後への意欲や希望等を書き記したりすることができるようよく工夫されている。

各学年巻頭に、「話し合いの手引き」、「司会カード」として、話し合い活動の手順やルール等が提示され、学習の流れを掴みやすい。また、各学年に1箇所2時間扱いで問題解決的な学習が設定されており、イラストや写真が中心の導入ページや思考の流れをワークシート形式で詳しく示したページによって、無理なく学習が進められるようよく工夫されているとともに、各学年に2箇所「ACTION!」として、役割演技や体験的な学習を促す特設ページが用意されるなど、多様な学習方法が提案されている。

各学年に1箇所、本教材の内容理解を助けたり、他教科や自分の生活に結び付けて考えたりすることを促す資料ページ「Plus」が用意されるとともに、各教科等との関連を示したマークが教材ごとに示されるなど、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。現代的な課題等については、先人の伝記の教材がやや少ないものの、社会参画、伝統と文化、情報モラル等を題材とした教材がバランスよく取り扱われている。特に、特集ページ「いじめのない世界へ」、「いのちを考える」は、各学年1箇所3時間扱いで複数教材を組み合わせたユニットを構成しており、よく工夫されている。

付録に小学校の定番教材を掲載したり、小学校の各教科等で学んだ活動を生かした話し合い活動を提案したりするなど、小学校との接続についてもよく工夫されている。また、家庭や地域に関する教材に加え、各学年の裏表紙に保護者へのメッセージを掲載するなど、家庭との連携も図られている。

■学校図書「輝け 未来 中学校道徳」

各教材の冒頭に、4つの視点、内容項目、主題、教材名、出典に加え、深く考えてもらいたい大切なポイントとして現代的な課題等との関連を示す独自のマークが示されており、教材ごとのねらいの明確化が図られている。しかし、教材冒頭の情報が多すぎて生徒が焦点化しにくい面があり、また、一部教材においては、本文の注釈が必ずしも必要ではない語句にまで付されており、読みづらいものがある。

各教材末には、「考えよう」、「見つめよう」と課題を提起する発問や、見方を広げたり、深く

考えたりする発問が2段階で提示されるとともに、特に議論する場面には「意見交換」と明示されており、学習に取り組みやすい。

また、各教材末には、「振り返ろう」とするメモ欄が用意され、学習後の振り返りが促されている。各学年に22箇所（内容項目分）用意されている特設ページ「心の扉」は、教材本文の学習後、学習した内容やその時間で扱った内容項目にとどまらず、日常生活や社会の発展にまで視野を広げた内容が取り上げられ、自分の考えを書く欄が設定されるなど、内容項目をより広く深く、多面的・多角的に考えることができるようよく工夫されている。さらに、各学年の学期ごとの学習を振り返る「学びの記録」ページが用意されているとともに、各学年巻末には、「1年間の振り返り」とする特設ページで、1年間の学習や心の成長を振り返り、これからの自分の生き方について見つめることができるよう構成されている。

問題解決的な学習や体験的な学習については、例えば、自我関与が中心の読み物教材を活用しつつ、問題解決的な学習も取り入れるなど、それぞれ独立した学習展開とはせず、それぞれの要素を取り入れた学習展開を提案している。

現代的な課題であるいじめ問題、社会参画、伝統と文化、先人の伝記、情報モラル等については、各教材の「考えよう」、「意見交換」とする発問や、特設ページ「心の扉」で多面的・多角的に考えを深められるよう構成されている。特に、いじめ問題を扱った教材については、問題点に直接正対する教材と、日常生活のあり方に注目する間接教材の2種を、各学年で用意することで、生徒自身が問題点を見だし、考え、判断しやすくなっている。

教材以外では、夏休み中の学校・家庭・地域での活動を例示する特設ページや、「学びの記録」ページに「家の人にも伝えよう」とするメッセージを掲載したり、巻末に「保護者の方へ」とする特設ページを用意したりするなど、家庭との連携も図られている。

■教育出版「中学道徳 とびだそう未来へ」

1時間1教材として、コラム等がなく、教材を中心とした構成である。各教材の冒頭には、教材名と疑問文の形で意識付けを行うための導入文がわかりやすく提示されており、学習前後の考えの変化について、導入文をもとに振り返ることで、生徒自身が考えの変化を実感しやすい。また、各教材末には、「学びの道しるべ」として、基本発問、中心発問、発展発問が3段階で設定されており、自己を見つめたり、自我関与を促したり、グループ活動や意見交換・話し合い活動を取り入れたりするなど、考え、議論する学習活動が進めやすいようよく工夫されている。ただし、1時間1教材としてコラム等がないことは、学習内容の焦点化を図るためであるものの、多様な見方・考え方や多面的・多角的な学びにつなげる手立てとしては弱い。

各学年とも、適宜、特設ページ「やってみよう」として、書く活動も含め、様々な学び方を促すページが用意されているとともに、巻末には、すべての教材について、学習を通じて得た実感を「心かがやき度」として☆マーク3つで書き記すことができるよう構成されている。また、「道徳の学びを記録しよう」として、学期ごとに印象に残った教材等を振り返り、記録するページも用意されている。

各学年5～6箇所ずつ問題解決的な学習を取り入れた教材が設定されているとともに、体験的な学習は、各学年1～2箇所設けられ、教材後に特設ページ「やってみよう」で役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動が効果的に取り入れられるなど、よく工夫されている。

いじめ防止や情報モラル等の現代的な課題等も適切に取り扱われている。特に、伝統と文化に関する教材が最も豊富で、補充教材にも複数用意されている。また、各学年巻末には、「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を取り上げ、地域のために尽くした人々から学び、地域に愛着が持てるよう構成されている。さらに、3年間を通して、「情報とよりよくつき合う」をテーマに、情報機器の良い点や利用時に気を付けるべき点など、制度やきまりを守る大切さについて考える教材が配列されており、生徒が問題意識をもって、多面的・多角的に考えることを促している。

構成について、余白が適切に調整されるなど、全体のレイアウトはすっきりしており、教材文も短く、見てわかりやすいが、一部教材に必要な注釈（未曾有、悠久、進駐軍、胆嚢など）が示されていない。

■光村図書出版「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」

1年間を4シーズンに分け、学校生活の流れや生徒の成長過程を踏まえ、シーズンごとのテーマを設定し、そのテーマに関連した内容項目の教材をユニット化して配置することで、1時間の学びを単独ではなく、関連する内容項目同士が有機的に結びつくよう構成されている。ただし、各校の年間指導計画と整合性を図りながら、4シーズンの括りを生かし、ユニットの効果を損ねないよう教材を配列し直すことが難しい。

教材ごとに1ページの手引があるシンプルな構成となっている。手引ページには、「学びのテーマ」、「考える観点」、「見方を変えて」、「つなげよう」の4段階で、発問等がわかりやすく区別して提示されており、生徒が自分のこととして捉えたり、異なる観点から主体的・対話的に道徳的価値について学べたりできるようよく工夫されている。

また、手引ページ「考える観点」には、問題を解決するために話し合ったり、役割演技等の学習を促したりする意図ある発問が複数盛り込まれている。また、「つなげよう」では、他教材や他教科と関連付けたり、小学校での学びを振り返らせたり、読書活動を促したりするなど、多面的・多角的な学びに結び付けており、よく工夫されている。

さらに、手引ページ「私の気づき」には、生徒が感じたことや考えたことを書き込める欄が用意されており、話し合い活動の材料やポートフォリオ評価としても活用できる。また、学年巻末折込には、シーズンごとに自分の考えたことなどを自由に書き込める「学びの記録」が設けられるなど、振り返り活動につながるよう構成されている。

現代的な課題等については、いじめ問題、社会参画、環境、伝統と文化、情報モラル等に関するコラムが豊富に用意されており、教材とコラムを合わせて1教材2時間扱いで、教材で学んだ道徳的価値について、実際の活動で確かめたり、異なる道徳的価値で葛藤しながら考えたりするよう提案している。例えば、シーズン1の終わりにあるコラム「人と人との関係づくり」では、人とよりよい関係をつくる「こつ」を身に付けるための体験学習を提示しており、また、ユニバーサルデザインの理念や茶道の心を紹介するコラムを用意するなど、普段の生活と結び付けて、多面的・多角的に考えられるようよく工夫されている。

小学校との接続については、手引ページ「つなげよう」で、小学校での学びを振り返るよう提案したり、巻末付録に小学校道徳の定番教材を補充教材として掲載したりしている。

■日本文教出版「中学道徳 あすを生きる」「道徳ノート」

教科書本冊に加え、別冊「道徳ノート」が、各学年に用意されている。「道徳ノート」は、1教材1ページの構成で、本冊の発問に対する自分の思いや考えを書くための欄が教材ごとに設けられており、本冊と同じ挿絵や写真が掲載されているため、本冊の教材内容を想起でき、関連性がわかりやすい。また、「道徳ノート」には、今の自分のことを書くページや、内容項目の中で関心のあるものをチェックできる欄が巻頭に用意されるとともに、教材ごとに5段階の自己評価や、「話し合い活動の記録」、「学んだことを書いてみよう」とするページが設けられるなど、実感をもって学習を振り返ることができる。

本冊の各教材には、内容項目及び主題に加え、登場人物の顔写真やイラストがわかりやすく提示されており、学習に取り組みやすい。また、各教材末には、「考えてみよう」、「自分に+1」という道徳的価値に迫るための中心発問と、自分に問いかけ、これからの生き方に前向きに生かすための補助発問が段階的に設定されており、主体的に学習が進められるようよく工夫されている。

問題解決的な学習や体験的な学習については、各学年に、適宜「学習の進め方」として、実際の生徒の活動場面の写真や吹き出しセリフを用いて、学習の流れが示されており、やや中学生には丁寧すぎる構成であるが、活動のイメージは持ちやすい。また、各学年に、適宜「プラットホーム」とする各教科や地域と関連したコラムに加え、「参考」とする教材の内容理解を助けるコラムが掲載されており、教材で学んだ内容について、より広い視野から多面的・多角的に考え、学んだことを実践につなげられるようよく工夫されている。

現代的な課題等については、各学年で発達段階に応じた重要テーマが設定されており、いじめ問題、社会参画、伝統と文化、情報モラル、防災・安全教育、キャリア教育等について、主体的に考え、議論できるよう、複数教材とコラムによるユニットを複数配置し、関連する知識やスキルを積極的に紹介している。

各地域の伝統工芸や風習が教材として積極的に取り上げられるとともに、障害者理解、高齢者福祉等に関わる教材やコラムも豊富で、よりよく生きられる社会のあり方について深く考えられるよう構成されている。

教科書本冊は右開き、別冊「道徳ノート」は左開きのため、使いにくく、本冊及び「道徳ノート」とも全体に挿絵やイラストの数が多く、色使いも派手な印象である。

■学研教育みらい「中学生の道徳 明日への扉」

各教材の冒頭は、教材名のみでの提示である。あえて主題を提示しないことで、主題に捉われることなく、生徒が自分の感性で学習に入っていくことを意図したものであるが、主題がないことで生徒が教材の内容を捉えにくい。また、多くの教材で発問が1問のみとなっているが、内容項目ごとに用意された特設ページ「クローズアップ」、「クローズアッププラス」で、異なる視点や複数の内容項目に関連した情報等を取り上げることで、多面的・多角的な学びへとつながるよう補われている。

各学年の巻頭に、「考えを深める四つのポイント」として、イラストとセリフを用いて、生徒が発言しやすいよう活動のモデルを示すことで、言語活動を促すとともに、主体的・対話的な

学習に取り組めるよう構成されている。また、特設ページ「クローズアップ」,「深めよう」において、学習の振り返りとして書く活動が設定されているとともに、各学年巻末には、「心の四季」とした特設ページを用意し、1年間の学習を通した生徒自身の心の成長について書く欄が設けられている。ただし、「心の四季」の生徒への問いかけの言葉が捉えにくく、ページ構成の工夫も弱いなど、1年間の振り返り活動としては手立てが弱い。

問題解決的な学習や体験的な学習については、適宜、特設ページ「深めよう」において提案されており、「考えを整理しよう」、「話し合おう」、「振り返ろう」、「踏み出そう」など段階的に学習活動の流れをわかりやすく示しており、よく工夫されている。

現代的な課題等については、いじめ問題、伝統と文化、スポーツ、情報モラル等について、特設ページで体験活動を提案したり、複数教材を連続させたユニットを構成したりして、多面的・多角的に学習できるよう構成されている。特に、「いのちの教育」を全学年の重点テーマに掲げ、「自分の命」だけでなく、「他者の命」、「それらを支える様々な命」など多様な観点を通して、自他の生命を尊重し、他者とともによりよく生きることについて考えることを促している。また、「地球と地域の未来のために」、「スポーツの世界で共に輝く」とした他社にはない独自のテーマで、複数の関連教材をユニット化している。特に、「地球と地域の未来のために」のユニットでは、人権をはじめ、環境、貧困、平和、開発といった様々な課題が取り上げられており、多様な側面からよりよく生きることについて考えるよう提案している。

判型はA4版であるが、サイズの割に余白が少ないなど見やすい印象を受けない。

■廣済堂あかつき「中学生の道徳 自分を見つめる、考える、のぼす」

「中学生の道徳ノート 自分を見つめる、考える、のぼす」

各教材の冒頭には、教材名しか示されていないが、教材末の「考える・話し合う」コーナーに、「学習の手がかり」(本時のねらい)や、複数の発問が提示されるとともに、「考えを広げる・深める」として、自我関与に関する問いや思考を促す問い、物事を多面的・多角的に捉えるための問いも設定されるなど、よく工夫されている。

教科書本冊に加え、別冊「道徳ノート」が、各学年に用意されている。「道徳ノート」では、学年が上がるにつれ、本冊教材の発問とは異なる内容項目に迫った深みのある発問が系統的に提示されるとともに、発達段階に応じたわかりやすい言葉で内容項目が解説されている。また、様々な切り口から内容項目への理解を深めるための活動や関連データ、図、グラフ、名言等が豊富に掲載されており、具体的な数値から現状と未来について考えさせたり、授業の事前事後、導入・終末などに柔軟に活用したりすることで、多様な見方や考え方につなげ、多面的・多角的な学びとなるようよく工夫されている。

また、「道徳ノート」巻頭には、今の自分のことを書くページが設けられているとともに、巻末には、「心に残っている授業」、「話し合い活動」等の学習を記録できるページが用意されるなど、書く活動が充実しており、振り返り活動等で活用しやすい。さらに、「道徳ノート」の折込資料「心のしおり」は、教材ごと・内容項目ごとに2つの視点で毎時間、自己評価できるよう構成されている。ただし、教科書本冊は教材ごと、別冊「道徳ノート」は内容項目ごとに構成されているため、関連性がわかりづらい。また、「道徳ノート」は複数教材を1ページで扱っており、書く欄が足りなくなることが想定される。

特設ページ等で示される具体的な学習の手立ては少ないが、問題解決的な学習や体験的な学習が設定された教材や、そうした学習へと誘導することを意図した教材が最も豊富である。

現代的な課題等については、各学年巻末の特設ページ「よりよい未来をつくるために」、「持続可能な社会をめざして」において、多様な日本の伝統と文化を守るための取組や国際的な協力事例が紹介されるとともに、生徒の地域行事への参加を促すなど、当事者意識をもって多面的・多角的に考えられるよう構成されている。

本冊の教材は、長く読み継がれてきた名作や定番の教材が多く、また、すべての教材の後に、先人や著名人等の格言や名言が掲載されていることも特徴的である。

■日本教科書「道徳 中学生 生き方から学ぶ、見つめる、創造する」

各学年巻頭に、道徳科の授業のあり方がわかりやすく提示されており、学習のイメージを持って、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されているが、各教材の冒頭には、教材名のみで主題等は提示されておらず、主題がないことで生徒が教材の内容を捉えにくくなっている。また、各教材には、「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」と、考え、議論することを促す発問が複数設定されているが、学年や教材で発問数にばらつきがあると同時に、発問自体の力も弱いため、多面的・多角的な学びにつながりにくい。

各学年で4つの視点ごとに、「考えてみよう」、「書いてみよう」、「話してみよう」など、コラムや書く活動、話し合い活動を促す特設ページが設定されており、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。教材ごとに書く欄は設けられていないが、適宜、特設ページ「書いてみよう」において書く活動が設定されている。また、各学年巻頭に、今の自分のことを書く欄が用意されるとともに、巻末には、「心の成長の振り返り」、「道徳の時間の振り返り」、「これからの心の成長について」とする特設ページが用意されており、1年間の学習の振り返りや心の成長、これからの自分の生き方について考えることができるよう構成されている。

問題解決的な学習や体験的な学習については、教材の設定が少なく、特に体験的な学習は、設定されていない学年もある。

現代的な課題等については、いじめ問題を正面から取り上げる直接教材は少ないものの、生命を守る・救う教材や、性同一性障害に悩む主人公を題材にした教材に加え、「障害者差別解消法」、「合理的な配慮」、「インクルーシブ教育」の理念を紹介する特設ページなど、基本的人権や、差別のない社会の実現に向け行動することについて、様々なアプローチから考えられるよう構成されている。

また、教科書の表紙及び裏表紙には、過去から受け継がれてきた日本の伝統と文化に関する写真、未来へとつながる新しい技術の写真が印象的に掲載されていることも特徴的である。

一部教材で、本文の背景に写真を掲載することで見づらい箇所や、必要な注釈が示されていない箇所（铸造、反射炉、戦慄など）がある。また、デジタルコンテンツの用意、環境に配慮した再生紙や植物油インキ等の使用、カラーユニバーサルデザインの採用等について、本冊に明記されておらず、配慮されているか不明である。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

観点別資料

【選定の観点1】

道徳科の目標を達成するために、生徒の発達段階に即し、学習のねらい（目標）や振り返り活動等が適切に設定されるなど、生徒の道徳的な成長を促し、実感できるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○各学年の巻頭折込に、「道徳の時間はこんな時間に」というオリエンテーションページが設定されている。漫画を用いることで、道徳科の授業の目的や流れを体験し、自分の考えを深めることや振り返りのイメージが持ちやすいものとなっている。</p> <p>○各学年の巻頭に、目次に合わせ、内容項目別の目次が掲載されており、生徒にわかりやすく、1年間の学習の見通しを持ちやすい。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「道徳の学習を始めよう！」というオリエンテーションページが設定されている。道徳科の授業の進め方が、わかりやすくまとめられており、道徳の授業のイメージが持ちやすい。</p> <p>○各学年の巻頭に、内容項目をさらに深く考えるための特設ページ「心の扉」が、4つの視点ごとに整理され示されており、1年間の学習の見通しを持ちやすい。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「○年生の道徳が始まる」というオリエンテーションページが設定されている。道徳の学びへのメッセージとともに、1年間の学習教材がテーマごとに示されるなど、見通しを持って学習できるよう構成されている。</p> <p>○各学年の巻頭に、その学年で特に深く考える重点項目別の教材目次が掲載されており、生徒にわかりやすく、1年間の学習の見通しを持ちやすい。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「対話で広がる、道徳の時間」というオリエンテーションページが設定されている。巻末の「どうして道徳を学んだらう？」とする特設ページと関連させることで、「どう学ぶのか」「なぜ学ぶのか」がわかりやすい。</p> <p>○各学年の巻頭に、「本書で学ぶ皆さんへ」とする特設ページが設けられ、教科書の構成等を生徒にもわかりやすく示されており、見通しをもって学習に取り組みやすい。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「道徳科で学ぶこと」「道徳科の学び方」というオリエンテーションページが設定されている。4つの視点の関連性がイラストでわかりやすくまとめられるなど、道徳科の学習のイメージが持てるよう構成されている。</p> <p>○各学年の巻頭に、「この教科書で学ぶテーマ」として、各教材で扱うテーマが分類して表示されており、生徒にわかりやすく、1年間の学習の見通しを持ちやすい。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「扉を開く」というオリエンテーションページが設定されている。道徳科で学ぶこと、考えることについて紹介することで、見通しを持って学習できるよう構成されている。</p> <p>○各学年の巻頭に、内容項目ごと、テーマごとに、教材やコラムを分類した一覧が掲載されており、生徒にわかりやすく、1年間の学習の見通しを持ちやすい。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「道徳の時間とは」というオリエンテーションページが設定されている。「道徳の時間とは」として、考えること、話し合うことなどの意義をわかりやすく紹介することで、見通しを持って学習できるよう構成されている。</p> <p>○各学年の巻末に、内容項目別の目次が掲載されており、生徒にわかりやすく、1年間の学習の見通しを持ちやすい。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「道徳科って何を学ぶの？」というオリエンテーションページが設定されている。4つの視点の関連性が、イラストでわかりやすくまとめられるなど、道徳科の学習のイメージが持ちやすいものとなっている。</p> <p>○各学年の巻頭に、「教科書の使い方」とする特設ページが設けられ、教科書の構成等が生徒にもわかりやすく示されており、見通しをもって学習に取り組みやすい。</p>

※表中の「発行者名」は、文部科学省が発行する教科書目録に記載の発行者の番号と略称。

※表中の「4つの視点」とは：道徳科の目標の達成に向け、指導すべき内容項目（22項目）について、相互の関連性や発展性を明確にするため、分類整理するための視点。

（1主として自分自身に関すること 2主として他の人とのかわりに関すること 3主として集団や社会とのかわりに関すること 4主として自然や崇高なものとのかわりに関すること）

【選定の観点1】

発行者名							
2 東書	1 1 学校図書	1 7 教育出版	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
<p>○各教材の冒頭に、生徒に投げかけるような表現で、その教材で考えるテーマが示されるとともに、各学年で5教材程度、1～2コマ漫画を導入部分に掲載することで主題を捉えやすくしている。また、各教材末には、「考えてみよう!」として、道徳的価値に迫るための中心発問や自己を見つめる発問、補助的な発問が段階的に設定されており、主体的に学習が進められるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各教材の冒頭に、4つの視点、内容項目、主題、教材名、出典、現代的な課題等との関連を示す独自のポイントマークが示され、教材ごとのねらいの明確化が図られているが、<u>情報が多すぎて、生徒が焦点化しにくい。</u>各教材末には、「学びに向かうために」として、「考えよう」「見つめよう」など課題を持たせる発問や見方を広げたり、深く考えたりする発問が提示されている。</p>	<p>○各教材の冒頭に、疑問文の形で意識付けを行うための導入文がわかりやすく提示されており、学習前後の考え方の変化について導入文をもとに振り返ることで、生徒自身が考えの変化を実感しやすい。また、各教材末には、「学びの道しるべ」として、道徳的価値に迫るための中心発問や補助発問等が複数設定されており、道徳的価値を深められるよう構成されている。</p>	<p>○1年間を4シーズンに分け、学校生活の流れや生徒の成長過程を踏まえ、シーズンごとの設定テーマと関連した内容項目の教材をユニット化して配置することで、1時間の学びを単独ではなく、関連する内容項目が有機的に結びつくよう構成されている。<u>ただし、各校の年間指導計画と整合性を図りながら、4シーズンの括りを生かし、ユニットの効果を損ねないよう教材を配列し直すことが難しい。</u></p> <p>○教材ごとに、手引が設けられ、「学びのテーマ(めあて)」、「考える観点(発問、課題の設定)」、「見方を変えて(多面的・多角的な見方・考え方)」「つなげよう(学びの広がり・深化)」の4段階で、発問等がわかりやすく区別されており、異なる観点から、生徒が主体的・対話的に道徳的価値について学べるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各教材に、内容項目、主題に加え、登場人物の顔写真やイラストがわかりやすく提示されており、学習に取り組みやすい。また、各教材末には、「考えてみよう」「自分に+1」という道徳的価値に迫るための中心発問と自分に問いかけ、これからの生き方に前向きに生かすための補助発問が、わかりやすく段階的に設定されており、主体的に学習が進められるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各教材の冒頭には、教材名のみで主題等は提示されていない。あえて主題を提示しないことで、主題に捉われることなく、生徒が自分の感性で学習に入っていくことを意図したものであるが、<u>主題がないことで生徒が教材の内容を捉えにくくなっている。</u></p>	<p>○本冊は教材ごと、別冊ノートは内容項目ごとに構成されているため、<u>関連性がわかりづらい。また、ノートは複数教材を1ページで扱っており、書く欄が足りなくなる</u>ことが想定される。</p>	<p>○各教材の冒頭には、教材名のみで主題等は提示されておらず、<u>主題がないことで生徒が教材の内容を捉えにくくなっている。</u></p>

【選定の観点1】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○各教材に1箇所、「つぶやき」として、感じたことや考えたことについて、自由に書き込めるメモ欄が用意されているとともに、各学年の巻頭に、「今の気持ちを書き留めておこう」というコーナーが用意されている。また、巻末には、「自分の学びを振り返ろう」と学習記録（自己評価）の特設ページが3枚用意されており、学期ごとに心に残った教材を振り返ったり、次学年や卒業後への意欲や希望等を書き記したりすることができる。なお、特設ページは、切り離して提出したり、ファイルに綴じたりしやすいよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各教材末に、「振り返ろう」とするメモ欄が用意され、学習後の振り返りが促されている。また、各学年で、各教材の学習後に書き込める「学びの記録」ページが、学期ごとに用意されており、学習を振り返ることができる。また、各学年の巻末には、「1年間の振り返り」とする特設ページが設けられており、1年間の学習や心の成長を振り返り、これからの自分の生き方について見つめることができるよう構成されている。</p>	<p>○適宜、「やってみよう」として、書く活動も含め、様々な学び方を促す特設ページが用意されているとともに、各学年の巻末には、すべての教材について、学習を通じて得た実感を「心かがやき度」として☆マーク3つで書き記すことができるよう構成されている。また、「<u>道徳の学びを記録しよう</u>」として、学期ごとに印象に残った教材等を振り返り、記録するページも用意されている。</p>	<p>○教材ごとに用意される1ページの手引の中に、「私の気づき」として、感じたことや考えたことを書き込める欄が用意されており、話し合い活動の材料やポートフォリオ評価としても活用できる。また、各学年の巻末折込には、シーズンごとに自分の考えたことなどを自由に書き込める「<u>学びの記録</u>」が設けられている。</p>	<p>○別冊「道徳ノート」が用意されている。別冊ノートの巻頭には、今の自分のことを書くページとともに、内容項目の中で関心のあるものをチェックできるようになっている。また、1教材1ページの構成で、教材ごとに「自分への振り返り」とする5段階の自己評価や、「話し合い活動の記録」「学んだことを書いてみよう」が設けられており、実感をもって学習を振り返ることができるよう構成されている。</p>	<p>○各教材に関連させた特設ページ「クローズアップ」「深めよう」において、学習の振り返りとして、感じたことや考えたことなどを書く欄が適宜設定されている。また、巻末には「心の四季」として、1年間の学習を通して、自身の心の成長について書く欄が設けられているが、<u>生徒への問いかけの言葉が捉えにくく、ページ構成の工夫も弱いなど、1年間の振り返り活動としては手立てが弱い。</u></p>	<p>○別冊「道徳ノート」が用意されている。別冊ノートの巻頭には、今の自分のことを書くページが設けられている。また、巻末に「心に残っている授業」「話し合い活動」「学習」を記録できるページが用意されるなど、書く活動が充実しており、振り返り活動等で活用しやすく。折込資料「心のしおり」では、教材ごと・内容項目ごとに、2つの視点で毎時間、自己評価することで、心の成長が実感できるよう構成されている。</p>	<p>○教材ごとに書く欄は設けられていないが、適宜、様々な学び方を促す特設ページが設定されており、「書いてみよう」として、書く活動も用意されている。また、各学年巻頭には、今の自分のことを書く欄が設けられている。各学年の巻末に、「心の成長の振り返り」「道徳の時間の振り返り」「これからの心の成長について」とする特設ページが用意されており、1年間の学習の振り返りや心の成長、これからの自分の生き方について考えることができるよう構成されている。</p>
				<p>○別冊ノートには、本冊の発問に対する自分の思いや考えを書くための欄が設けられており、本冊と同じ挿絵や写真が掲載されているため、本冊の教材内容を想起し、関連性がわかりやすい。</p>		<p>○別冊ノートでは、本冊の教材の発問とは異なる内容項目に迫った発問が提示され、書く欄も用意されており、話し合い活動の材料やポートフォリオ評価としても活用できる。</p>	

【選定の観点2】

言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習など、生徒が主体的・対話的に道徳的価値について、広い視野から多面的・多角的に学べるよう多様な指導方法が工夫され、「考え、議論する道徳」の学習活動が進められるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○各学年の巻頭に、「話し合いの手引き」、「司会カード」として、話し合い活動の手順やルール等が提示され、学習の流れが掴みやすい。また、本教材の学習の際に活用することで、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各教材の冒頭に、その教材で考えるテーマが示されるとともに、一部教材では主題に関連する1～2コマ漫画が掲載されており、導入で主題が捉えやすい。また、終末の中心発問等と関連させて振り返りで活用することで、主体的な学習を促し、自己を見つめ、考え、議論する手立てとなっており、よく工夫されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「学級づくり」という見開きの特設ページが用意され、話し合い活動の手順や注視点等とともに、イラストを用いて、生徒間を近接させるための対話ゲームを設定するなど、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各教材の冒頭に示される、4つの視点、内容項目、主題、教材名、出典、現代的な課題等のポイントマークは、情報が多すぎて、生徒が焦点化しにくい面があるが、各教材末には、「考えよう」「見つけよう」と課題を持たせる発問や見方を広げたり、深く考えたりする発問が、2段階で提示されるとともに、特に考え、議論する場面には「意見交換」と明示されており、学習に取り組みやすい。</p>	<p>○1年生の巻頭に、小学校との連携を意識して、「道徳って、どんなふうに学習したらいいの？」とする特設ページが用意され、様々な視点を通して、自分の考えを深めることをイメージしつつ、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各教材に用意される「学びの道しるべ」では、教材ごとに基本発問→中心発問→発展発問の3段階で設定されており、自己を見つめたり、自我関与を促したり、グループ活動や意見交換・話し合い活動を取り入れたりするなど、考え、議論する学習活動が進めやすいよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、道徳科の授業における「他者との対話」「自分との対話」の大切さについて、わかりやすくまとめられており、学習のイメージを持って、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○教材ごとに手引が設けられ、「学びのテーマ」「考える観点」「見方を変えて」「つなげよう」の4段階で、生徒が自分のこととして捉え、主体的に学べるよう構成されている。また、「つなげよう」では、他教材や他教科と関連付けたり、小学校での学びを振り返らせたり、読書活動を促したりするなど、多面的・多角的に学びを広げられるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、学びを深める手立てが、生徒の活動場面の写真に吹き出しを付けて、わかりやすくまとめられており、学習のイメージを持って、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各教材に、「考えてみよう」「自分に+1」という活動（発問）が提示されており、特に「自分に+1」は、自分自身を振り返り、これからの生き方に前向きに生かすための発問内容となっているため、生徒が自分自身を見つめ直し、登場人物や教材に自我関与しやすい構成である。</p>	<p>○各学年の巻頭に、「考えを深める四つのポイント」として、イラストとセリフを用いて、生徒が発言しやすいよう、活動のモデルを示すことで、言語活動を促すとともに、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○多くの教材で、発問が1問のみであるが、内容項目ごとに用意された「クローズアップ」「クローズアッププラス」とする特設ページで、異なる視点や複数の内容に関連する情報等が取り上げられており、広い視野からの学びを進められるよう構成されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、道徳科の授業の目的や自分自身のあり方や考え方について、考え、話し合い、書く活動等を通して、自己理解を深めていくことの大切さがわかりやすく解説されているなど、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各教材に、「考える・話し合う」が用意され、学習の手がかりや複数の発問が提示されている。特に、「考えを広げる・深める」では、自我関与に関する問いや思考を促す問い、物事を多面的・多角的に捉えるための問いとなっており、よく工夫されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、道徳科の授業の学習のあり方がわかりやすく提示されており、学習のイメージを持って、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各教材に、「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」と、考え、議論することを促す発問が複数設定されているが、<u>学年や教材で発問数にばらつきがあり、また、発問自体の力も弱い</u>ため、<u>多面的・多角的な学習には、つながりにくい。</u></p>

【選定の観点2】

発行者名	2 東書	1 1 学校図書	1 7 教育出版	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
<p>○各学年に1箇所、2時間扱いで問題解決的な学習が設定されている。イラストや写真が中心の導入ページや思考の流れをワークシート形式で詳しく示したページが用意されるなど、無理なく学習が進められるよう、よく工夫されている。</p> <p>○各学年に2箇所、役割演技等の体験的な学習を主体とした特設ページ「ACTION!」が用意されており、本教材と併せて行うことで、本教材の道徳的価値の理解を深めたり、生徒が自分のこととして捉えたりして、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○問題解決的な学習や体験的な学習について、例えば、自我関与が中心の読み物教材を活用しつつ、問題解決的な学習も取り入れるなど、それぞれ独立した学習展開とはせず、それぞれの要素を取り入れた学習展開を提案している。</p> <p>○各教材末の「振り返ろう」での書き込みとは別に、内容項目を概括する特設ページ「心の扉」が、各学年に22箇所(内容項目分)用意され、自分の考えを書く欄もあるなど、内容項目をさらに広く深く、多面的・多角的に考えることができるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各学年5～6箇所ずつ、問題解決的な学習を取り入れた教材が設定されている。また、体験的な学習は、各学年1～2箇所設けられ、教材の後に「やってみよう」とする特設ページで役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動が効果的に取り入れられているなど、よく工夫されている。</p> <p>○教材文は短く、構成も見てわかりやすいよう工夫されているが、<u>内容の焦点化を図るため、1時間1教材として、コラム等が用意されていない。</u></p>	<p>○各教材の手引の「考える観点」には、問題を解決するために話し合ったり、役割演技等の体験的な学習を促したりする意図のある発問が複数盛り込まれており、考えを深めたり、発展させたりしやすい構成となっている。</p> <p>○各学年に、現代的な課題等を中心としたコラムが豊富であるとともに、教材とコラムを合わせて1教材2時間扱いで学習するよう設定されている。1時間の学びが単独ではなく、実際の活動で確かめたり、異なる道徳的価値を葛藤しながら考えたりすることで、多面的・多角的に実践的な思考が促されるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○体験的な学習後の話し合い活動を促している。また、各学年に適宜、「学習の進め方」として、問題解決的な学習や体験的な学習が、実際の活動場面の写真や吹き出しセリフを用いて学習の流れが示されており、やや中学生には丁寧すぎるが、活動のイメージは持ちやすい。</p> <p>○各学年に、適宜「プラットフォーム」とする各教科や地域と関連したコラムとともに、「参考」とする教材の内容理解を助けるコラムが掲載されており、教材で学んだ内容をより広い視野から多面的・多角的に考え、学んだことを実践につなげられるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○適宜、特設ページ「深めよう」が設けられ、問題解決的な学習や体験的な学習が提案されており、「考えを整理しよう」「話し合おう」「振り返ろう」「踏み出そう」など段階的にわかりやすく、また取り組みやすいよう学習活動を導いており、よく工夫されている。</p> <p>○各学年で、「地球と地域の未来のために」「スポーツの世界で共に輝く」をテーマに複数教材をユニット化することで、異なる視点や内容項目から、多面的・多角的に考えを深めたり、発展させたりすることができるよう構成されている。</p>	<p>○特設ページ等で示される具体的な学習の手立ては少ないが、問題解決的な学習や体験的な学習が設定された教材や、そうした学習へと誘導することを意図した教材が最も豊富である。</p> <p>○別冊ノートでは、学年が上がるにつれ、深みのある発問が系統的に提示されるとともに、発達段階に応じたわかりやすい言葉で内容項目が解説されており、授業の事前事後、導入・終末などに柔軟に活用できる。また、様々な切り口から内容項目への理解を深めるための活動やグラフ、名言等が掲載されており、多面的・多角的な学びにつながるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○問題解決的な学習、体験的な学習を意図した教材の設定が少なく、特に<u>体験的な学習は、設定されていない学年もある。</u></p> <p>○各学年で、4つの視点ごとに、「考えてみよう」「書いてみよう」「話してみよう」など、コラムや書く活動、話し合い活動を促す特設ページが適宜設定されており、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	

【選定の観点2】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○3年間を通した重点である「いじめ防止」と「生命尊重」について、各学年1箇所3時間抜いで、複数教材を組み合わせたユニットを構成するとともに、各学年に1箇所、教材に関連した資料ページ「Plus」が用意され、教材の導入や終末で活用することにより、教材内容の理解を助けたり、他教科や自分の生活に結び付けたりするなど、多面的・多角的に考えられるようよく工夫されている。</p> <p>○各教材の冒頭で、各教科との関連を示したマークを掲載したり、巻末では、テーマごとに教材を分類したりするなど、各教科の学習や教育課題等の関連を示すことで、多面的・多角的な学びを促している。</p>	<p>○重要テーマについて、各学年で複数教材が配置されるとともに、特に「いじめ防止」は、直接教材と間接教材の2種の教材が用意されるなど、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○漫画、写真、歌詞、新聞記事等から多様な教材を適宜取り入れられるとともに、読むことだけでなく、話し合い活動を促すなど、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○シーズン1の終りに、コラム「人と人との関係づくり」として、体験的な学習を通して、人とよりよい関係をつくる「こつ」を身に付けるため体験学習を提示するなど、実践活動を通じて、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p> <p>○絵本作家ヨシタケシンスケさんと生徒が対話できる特設ページやアイデアマッピングの手法を取り入れた教材、漫画形式の教材等が豊富である。また、多面的・多角的に学べるよう複数資料から考える教材が効果的に用いられている。</p>	<p>○働くこと、国際理解、いじめ防止、情報モラルなど、発達段階に応じた各学年の重要テーマについて、主体的に考え、議論できるよう、複数教材とコラムによるユニットが構成されている。ユニットは各学年で複数配置され、関連する知識やスキルを紹介するなど、広い視野から多面的・多角的な学びとなるよう、よく工夫されている。</p> <p>○各教材に、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材に関連マークを示すとともに、インターネットを活用することでより学習が深められる教材にも関連マークを示しており、わかりやすい。</p>	<p>○読み物教材だけではなく、新しい形式の教材として、導入部分で複数の対立する意見を提示する教材を用いるとともに、特設ページ「クローズアッププラス」で、「自己肯定感」「アンガーマネジメント」「メンタルトレーニング」の3つの実技を通して、適切な行為の選択や自己理解、他者理解を促している。</p>	<p>○各学年3箇所、本冊（「thinking」）、ノートともに特設ページが設けられており、生徒が道徳的思考を深めるための読み物や活動を伴う補助教材が用意され、本教材の道徳的価値を多面的・多角的に捉えられるよう構成されている。</p> <p>○本冊のすべての教材の最後に、格言や名言が掲載されている。特に3年生では哲学者の考え方や生き方に関する教材と関連させることで、多面的・多角的な学びを促している。</p>	

【選定の観点3】

内容項目が網羅的に取り扱われており、教材の系統性・発展性が工夫されていること。また、他教科、総合的な学習の時間、特別活動とともに、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に加え、他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
○すべての内容項目が扱われており、同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列され、発達段階に応じた教材内容になっている。	○すべての内容項目が扱われており、同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列され、発達段階に応じた教材内容になっている。	○すべての内容項目が扱われており、同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列され、発達段階に応じた教材内容になっている。	○すべての内容項目が扱われており、同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列され、発達段階に応じた教材内容になっている。	○すべての内容項目が扱われており、同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列され、発達段階に応じた教材内容になっている。	○すべての内容項目が扱われており、同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列され、発達段階に応じた教材内容になっている。	○すべての内容項目が扱われており、同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列され、発達段階に応じた教材内容になっている。	○すべての内容項目が扱われており、自由に組み合わせられるよう学習指導要領の内容項目順に教材が配列されている。また、教材内容は発達段階に応じたものとなっている。
○社会科、理科、保健体育科、家庭科と関連がある教材が多い。	○社会科、理科、保健体育科、家庭科と関連がある教材が多い。	○理科、社会科、家庭科、特別活動と関連がある教材が多い。	○社会科、保健体育科、美術科、特別活動と関連がある教材が多い。	○社会科、保健体育科、特別活動と関連がある教材が多い。	○社会科、保健体育科、美術科、特別活動と関連がある教材が多い。	○理科、社会科、音楽科、保健体育科と関連がある教材が多い。	○理科、社会科、音楽科、保健体育科と関連がある教材が多い。
○各学年の巻頭に、4つの視点、内容項目、教材名等の一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。また、各教材に、関連する教科マークを示し、他教科との関連がわかるようになっている。	○各学年の巻末に、4つの視点、内容項目、教材名等の一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。	○各学年の巻末の自己評価欄に、4つの視点、内容項目、教材名等の一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。	○各学年の巻末に、内容項目、主題、教材名、各教科、現代的な教育課題等との関わりの一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。	○各学年の巻末に、内容項目、主題、教材名、各教科、現代的な教育課題等との関わりの一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。	○各学年の巻末に、内容項目、教材名、各教科等の一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。	○各学年の巻末に、内容項目、教材名、作者等の一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。	○各学年の巻末に、4つの視点、内容項目、教材名等の一覧が、生徒や保護者にもわかりやすく示されている。

【選定の観点3】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○各学年の巻末に、テーマごとに教材を分類したりするなど、教育課題との関連が図られている。</p> <p>○3年生の巻末付録「将来の姿をイメージしよう」とする特設ページで、生徒に身近な職業からあまり身近でない職業まで、活躍する先輩の声を紹介されている。</p> <p>○1年生の付録教材に、小学校道徳の定番教材が掲載され、小学生の頃と比べ、新しい発見や心の成長等を実感できるよう構成されている。また、巻頭の「話し合いの手引き」では、小学校の各教科等で取り組んできた活動を生かした話し合い活動を促すなど、よく工夫されている。</p>	<p>○各教材の冒頭に、主題を踏まえ、さらに深く考えてもらいたい現代的な課題等のポイントマークが提示されている。</p> <p>○各学年の巻末の「1年間の振り返り」ページに「これからどのようにしていきたいか」とする書く欄が用意されている。</p> <p>○特設ページ「心の扉」において、小学校の内容項目と中学校の内容項目の発達段階に応じたつながりを意識し、学びを振り返り、つなげられるよう構成されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、テーマごとに教材が一覧で示されるなど、教育課題との関連が図られている。</p> <p>○各学年の巻末に、次学年に向けて自分の思いや抱負などを書くページが用意されている。</p> <p>○1年生の巻頭に、小中連携を意識して、「道徳って、どんなふうに学習したらいいの？」とする特設ページが用意され、中学校での道徳科の学びが、小学校の道徳科の学びの延長にあることをイメージできるよう構成されている。</p>	<p>○各学年の巻末に、テーマごとに教材が一覧で示されるなど、教育課題との関連が図られている。</p> <p>○各学年の巻末折込「学びの記録」に1年間の振り返りと次学年に向けた自らの思いを書く欄が用意されている。また、3年生の巻末には、自分の将来を想像しながら人生目標年表を書くページが特設されている。</p> <p>○1年生のはじめの教材に、小学校生活との違いを考える教材が配されるとともに、「つなげよう」では、小学校での学びを振り返るよう提案するなど構成されている。また、1年生の巻末付録に、小学校道徳の定番教材が補充教材として掲載され、新しい発見や心の変容・成長等を実感できるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、テーマごとに教材が一覧で示されるなど、教育課題との関連が図られている。</p> <p>○2年生「プラットフォーム」で、様々な職業の方のインタビューを特集するとともに、職場体験活動と関連させた事前事後の授業が行えるよう、「働くこと」について2箇所からなるユニットが設定されている。</p> <p>○1年生巻頭の「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」で、4つの視点や道徳科の授業の流れが示されており、小学校の道徳科の学習とのつながりを生徒が理解し、見通しをもって学習に向かうことができるよう構成されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、テーマごと、4つの視点ごとに教材が一覧で示されるなど、教育課題との関連が図られている。</p> <p>○各学年の冒頭に、「My Profile」として自分のことを書くページが用意されている。また、3年生巻末には、「未来への扉」として、20歳になった自分へ手紙を書く特設ページが用意されている。</p> <p>○1年生巻頭に掲載される「考えを深める四つのポイント」で、中学校の道徳科の授業と同じ学習活動の流れであることを示すことで、生徒が安心して、見通しをもって学習に向かうことができるよう構成されている。</p>	<p>○各学年の巻末に、4つの視点ごとに、内容項目がわかりやすく表現された言葉と教材が一覧で示されている。</p> <p>○別冊ノートの各学年の冒頭に、今の自分を見つめ自己と向き合う「フェイスシート」が用意されている。また、本冊の各学年の巻末には、情報化や持続可能な社会を考えるための特設ページが用意され、生徒の主体的な社会参画を促している。</p> <p>○本冊や別冊ノートで、内容項目ごとに掲載される関連資料（図やグラフ等）に、小学生と中学生のデータ等を併記することで、中学生としての今の自分を考えるだけではなく、小学生との比較から考えられるよう構成されている。</p>	<p>○各学年の巻頭に、4つの視点ごとに分類される内容項目を示したイラストが掲載されている。</p> <p>○各学年の巻頭に、「心の成長を目指して」として自分のことを書くページが用意されている。また、巻末には、「これからの心の成長について考えよう」として、次年度以降に向けた思いや抱負を記入できる欄が設けられている。</p> <p>○1年生巻頭に掲載される「道徳科って何を学ぶの？」において、中学校の道徳科での学びと大きく変わらないことを示すことで、生徒が安心して、見通しをもって学習に向かうことができるよう構成されている。</p>

【選定の観点3】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
○家庭や地域に関する教材に加え、各学年の裏表紙に「保護者の皆様へ」とするメッセージが掲載されるなど、家庭との連携が図られている。	○夏休み中の学校・家庭・地域での活動を例示する特設ページが各学年で用意されている。また、各学年の「学びの記録」には、「家の人にも伝えよう」とするメッセージが、また、巻末には「保護者の方へ」とする特設ページが用意されるなど、家庭との連携が図られている。	○各学年の巻末に、次学年に向けて自分の考えを書くページが用意されており、その中で教師や保護者からのコメント欄を設けるなど、家庭との連携が図られている。	○家庭や地域に関する教材に加え、各学年の裏表紙に「保護者の皆様へ」とするメッセージが掲載されるなど、家庭との連携が図られている。	○各学年の本冊及び別冊ノートの巻末に、「先生、保護者の方へ」とするメッセージが掲載されるとともに、ノートでは生徒が印象に残ったことなどを書く欄に、保護者記入欄を設けるなど、家庭との連携が図られている。	○保護者への直接的なメッセージ等はないが、家庭や地域に関する教材が適宜取り入れられている。	○保護者への直接的なメッセージ等はないが、別冊ノートの「心に残っている授業の記録」「心のしおり」は、家庭との連携を図る際の媒体となっている。	○保護者への直接的なメッセージ等はないが、家庭や地域に関する教材が適宜取り入れられている。

【選定の観点4】

教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○教材ごとに、マークや色分けを用いて、4つの視点を明確にしたり、タイトルの前に主題を大きく表記したりして、学習に取り組みやすいよう構成されている。また、ページ下に他教科との関連がわかるようなマークが示されている。</p> <p>○表情豊かなイラストや漫画風の挿絵が豊富で、教材の展開や人物の心情を捉えやすく、また、図や表などの教材に関連する特設ページも適切に設定されている。</p> <p>○2つの色の割合で心情等を可視化するツール「心情円」と意見を書き記すための「ホワイトボード用紙」が付録されている。</p>	<p>○教材ごとに、マークや色分けを用いて、4つの視点や内容項目を明確にしたり、タイトルや主題を大きく表記したりして、学習に取り組みやすいよう構成されている。また、深く考えてもらいたい10種のポイントマークが示されている。</p> <p>○表情豊かなイラストや漫画風の挿絵、写真資料が多く、教材の展開や人物の心情等を捉えやすい。</p>	<p>○教材ごとに、4つの視点が明確となるよう、ページの左上と右横に色分けして示したり、意識付けの導入が示されたりして、学習に取り組みやすいよう構成されている。</p> <p>○大きめの挿絵に加え、写真やイラストも適切な分量で設定されており、それらを生かすよう、余白が適切に調整されるなど、紙面が見やすい。</p>	<p>○教材ごとに、シーズンの時期を色分けしたり、内容項目を示したりして、学習に取り組みやすいよう構成されている。</p> <p>○漫画風に描かれた教材や新聞記事を用いたり、挿絵に吹き出しをつけたりするなど、見飽きない構成で、余白も適切であり、学習に取り組みやすい。</p>	<p>○教材ごとに、4つの視点を色分けしたり、主題を示したりして、学習に取り組みやすいよう構成されている。</p> <p>○別冊ノートの書く欄に、本冊教材と同じ挿絵や写真が掲載され、本文の内容を想起できるよう配慮されている。</p>	<p>○教材ごとに、4つの視点を色分けするなど、学習に取り組みやすいよう構成されている。</p> <p>○写真やイラストが多く、色使いも鮮やかな印象で、文字もすっきりしており、教材に入っているやすい。</p>	<p>○教材ごとに、4つの視点を色分けしている。主題は示されていないが、教材末に「学習の手がかり」としての本時のねらいが示されるなど、学習に取り組みやすいよう構成されている。</p> <p>○挿絵等が強調されすぎず、シンプルに構成され、写真や文字もすっきりした印象である。</p> <p>○各教材の最後に、教材内容に関連する先人・著名人の名言等が紹介されており、多様な見方・考え方につなげている。</p>	<p>○教材ごとに、4つの視点を色分けするなど、学習に取り組みやすいよう構成されている。</p> <p>○写真や挿絵等が、シンプルに構成され、彩りもよく、文字もすっきりしており、教材に入っているやすい。</p>

【選定の観点4】

発行者名	2 東書	1 1 学校図書	1 7 教育出版	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
<p>○デジタル教科書，映像資料，ワークシートPDF，スライドショーなど，サポートコンテンツが豊富に用意されており，生徒に対して多角的にアプローチできるよう構成されている。</p> <p>○本教材に関連した資料ページ「Plus」で，学習した内容を他教科や日常生活に広げている。また，「探究の対話 p4c」（1年生）とする対話を通して他者と問いを共有し，様々な視点から考えを深めていく活動が取り入れられている。</p>	<p>○デジタル教科書，映像資料，朗読音声等が準備されており，生徒に対して多角的にアプローチできるよう構成されている。</p> <p>○特設ページ「心の扉」では，教材本文の学習内容やその時間で扱った内容項目にとどまらず，日常生活や社会の発展にまで視野を広げた内容が取り上げられており，多様な見方・考え方ができるよう構成されている。</p>	<p>○画像データ，朗読音声，動画資料，スライドショーなどが準備されている。また，総ルビ・分かち書き（文節の切れ目に余白を設ける）の文章データなど，困りのある生徒への配慮がなされている。</p> <p>○全体のレイアウトはすっきりしているが，教材に関連するコラムや特設ページがないため，<u>多様な見方・考え方に繋がる手立てが弱い。</u></p>	<p>○写真，オリジナル動画，朗読音声等が準備されている。また，あらすじを簡単に確認するコンテンツがあるため，教材内容を振り返りながら，安心して授業を受けられるよう構成されている。</p> <p>○各教材末の「つなげよう」では，他の教材との比較・関連といったアプローチから学習した内容を考察することが提案されており，多様な見方・考え方ができるよう構成されている。</p>	<p>○画像データ，映像，朗読音声等のデジタルコンテンツが準備されている。また，スライドショーやオリジナル発問の作成が可能なコンテンツも準備されている。</p> <p>○各教材末に，「考えてみよう」との発問に加え，「自分に＋1」として，学習した内容を自分に対して問いかけ，これからの生き方に前向きに生かしていきけるような発問を提示することで，多様な見方・考え方ができるよう構成されている。</p>	<p>○画像データ，映像，朗読音声等のデジタルコンテンツが準備され，また，教科書に掲載されていない挿絵や写真も収録されるため，生徒に対するアプローチの幅を広げることができる。</p> <p>○特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」「深めよう」が豊富に設定されており，様々な視点からの写真や資料等を提示することで，多様な見方・考え方ができるよう構成されている。</p>	<p>○画像データ，映像，朗読音声等のデジタルコンテンツが準備されており，別冊ノートとの関連付けにより，生徒の学習が深まりやすいよう構成されている。</p> <p>○別冊ノートには，内容項目を深めるための関連データ，図，グラフ等が豊富に掲載されており，具体的な数値から現状と未来を考えさせるなど，多様な見方や考え方がつながるよう構成されている。</p>	<p><u>○デジタルコンテンツについて，準備されているのか，特に明記されていないため不明である。</u></p> <p>○「もっと知りたい」「考えてみよう」「届けたい言葉」「込められた想い」「書いてみよう」など，コラムや話し合い活動を促す特設ページにより，多様な見方・考え方がつながるよう構成されている。</p>	

【選定の観点5】

生命の尊厳，社会参画，自然，伝統と文化，先人の伝記，スポーツ，情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし，生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり，感動を覚えたりするよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○現代的な課題であるいじめ問題，社会参画，伝統と文化，情報モラル等について，バランスよく取り扱われており，また，役割演技を促したり，異なる立場の思いを考え，書かせる欄が用意されたりするなど，複数の意見を聞き，自己の考えを深めることで，多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○特に，いじめ問題に重点が置かれており，特集ページ「いじめのない世界へ」「いのちを考える」では，3つの教材を組み合わせたユニット形式が各学年で取り入れられている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，社会参画，伝統と文化，先人の伝記，情報モラル等について，各教材の「考えよう」「意見交換」とする発問や，特設ページ「心の扉」で多面的・多角的に考えを深められるよう構成されている。</p> <p>○いじめ問題を扱った教材については，問題点に直接正対する教材と，日常生活のあり方に注目する間接教材の2種を各学年で用意し，生徒自身が問題点を見だし，考え，判断するよう構成されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，社会参画，自然，伝統と文化，情報モラル等について，「学びの道しるべ」「やってみよう」として，自己の考えを深めたり，活動を通して学びを深めたりすることを促し，多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○いじめ問題を扱った直接教材が，3年間を通して，特定の指導時期に集中しないようバランスよく掲載されるなど，学期や学年をまたいで，繰り返し考え，学びを深められるよう，体系的に配置されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，社会参画，環境，伝統と文化，情報モラル等について，教材とコラムを組み合わせたユニット構成で，多面的・多角的な学びを深められるよう構成されている。</p> <p>○いじめ問題を扱った教材については，「いじり」「いじめ」の違いや，「人と人との関係づくり」を考えるコラム等が用意され，その前後に思いやりや生命の尊さについて考えさせる教材が配置されるなど，教材とコラムのユニット化により，一体的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，社会参画，伝統と文化，情報モラル，防災・安全教育，キャリア教育等について，複数の教材とコラムをユニット化することで，多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○いじめ問題を扱った教材とコラムのユニットが各学年で複数配置されている。扉ページで考えるきっかけを投げかけ，直接・間接教材で考えたことを，知識やスキルを取り上げた2種のコラムで総合的に学習できるよう構成されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，伝統と文化，スポーツ，情報モラル等について，特設ページでの体験活動や，複数教材を連続させたユニット教材で，多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○いじめ問題を扱った教材については，各学年で直接教材や間接教材が取り上げられるとともに，特設ページ「クローズアップ」でも関連した題材が掲載されるなど，3年間を通して，生徒が主体的に取り組めるよう構成されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，社会参画，自然，情報モラル，防災等について，本冊の持続可能な社会を目指す特設ページで，「自分にできることを考え，行動しよう」と問題意識をもって多面的・多角的に考え，行動することを促している。</p> <p>○いじめ問題を扱った教材として，別冊ノートで「いじめの構造」とする学術的な資料をわかりやすく掲載したり，ある中学校生徒会の「いじめ撲滅宣言」の取組を紹介したりするなど，生徒自身に考えさせるページが用意されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，社会参画，先人の伝記，情報モラル等について，特設ページ「届けたい言葉」等が用意され，多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○いじめ問題を正面から取り上げる直接教材の数は少ないが，生命を守る・救う教材など，様々なアプローチで，生徒が主体的に考えられるよう構成されている。</p>

【選定の観点5】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○教材「ごみ箱をもっと増やして」(1年生)では、街中にごみ箱を増やしたいとする投書と、それとは異なる複数の意見を取り上げ、だれもが気持ちよく生活できる社会の実現に向けて、生徒が当事者意識をもって考えられるよう構成されている。</p>	<p>○18歳選挙権を行使することを視野に、生徒が自ら参加する活動の目的や意義を捉えられるよう、3年間を通して系統的に教材が用意されている。</p>	<p>○生徒会選挙という生徒に身近な体験を題材として取り上げ、集団や社会の一員としての責任を考えさせるなど、3年間を通して系統的に教材が用意されている。</p>	<p>○誕生日前から30歳までに実際に付与される権利や義務をボードゲーム的な表現で紹介したり、実際の中学生のボランティア活動の様子を写真で掲載したりするなど、実感をもって考えられるよう構成されている。</p>	<p>○防災活動や障害のある人との共生に関わる内容と関連付けた教材が3年間を通して用意されるとともに、最高学年として地域社会に積極的に関わるよう3年生後半の時期に関連教材をユニット化して配置するなど、多面的・多角的な視点から考えられるよう構成されている。</p>	<p>○同年代である中学生4人が、選挙権や社会参画について互いの意見を話し合っている場面を想定した教材が用意され、生徒が自分のこととして捉え、考えることができるよう構成されている。</p>	<p>○別冊ノートに、「働くこと」の世論調査や「地域や社会への関心」の全国調査などの実態数値が用いられるなど、生徒が当事者意識を高めながら、考えることができる関連資料が用意されている。</p>	<p>○特設ページ「もっと知りたい」では、国や地域の担い手意識に対する世界各国の同年代の数値を比較しながら考える教材が用意されるなど、広い視野から考えることを促すよう構成されている。</p>
<p>○導入の見開きページで阪神淡路大震災直後の神戸市の写真を用い、教材文ではボランティア活動を通して働くことの意義を考えさせている。さらに特設ページでは、ボランティアをする側・される側の役割演技で互いの立場を考えさせるなど、多面的・多角的な学びを促している。</p>	<p>○東日本大震災を題材に、津波避難の三原則を教材の中で紹介してから、自分たちの住んでいる土地の避難方法に関する話し合い活動を促し、突然起こる災害に対する普段からの心がけを考えさせるなど、実生活に即した問題意識をもって考えられるよう構成されている。</p>	<p>○地震や水害に実際に遭われた方に「災害の一日前に戻れるとしたら、あなたは何をしますか」と問いかけ、その回答を教材として、日頃から大切にすべきこと、安全に配慮した生活等について発問されており、生徒が実感をもって考えられるよう構成されている。</p>	<p>○特設コラムにおいて、大地震と津波が発生した想定のもと、地域と連携した防災活動に取り組む中学校の実例を紹介し、地域の一員として社会参画することを、生徒が自分のこととして捉え、考えを深められるよう構成されている。</p>	<p>○教材と特設ページ「プラットフォーム」がユニット化して配置され、熊本地震で活躍した中学生の姿や日頃の備え、避難3原則など、幅広い視点から取組を紹介するとともに、自分の地域の防災情報を知り、日頃からの心がけを考え、家庭で話し合うことを提案するなど多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○震災で被災した人たちの避難生活での困りの声を紹介し、ライフラインや備蓄等のあり方についてのペアや小グループでの話し合い活動を通して、生徒が問題意識をもって、自分でできることや、家庭での災害に対する備え確認することなどが提案されている。</p>	<p>○東日本大震災を題材に、被災した故郷を津波に負けない町にするため立ち上がった生徒たちの取組や、被災した人々を励まそうと発行された学校新聞「希望」を紹介し、自分が郷土のためにどんなことができるか、と問いかけるなど、生徒が実感をもって考えられるよう構成されている。</p>	<p>○特設ページ「話してみよう」で、「防災力を身に付けよう」と題して、大地震が発生した際、どのように行動すべきか、生徒が実感をもって考えられるよう構成されている。</p>

【選定の観点5】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○各学年巻末に、「郷土のことを考える」とした特設ページが用意され、京都市「末富」の京菓子司や和食を教材化するなど、郷土の発展を支える人物や伝統と文化、技術、産業等について、身近な題材で多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p> <p>○各学年巻末の各都道府県にゆかりの人物等を紹介するページや、「読書で広げる道徳」とするページ等で先人が取り上げられているが、教材で取り上げる先人の伝記がやや少ない。</p>	<p>○伝統と文化に関する先人や現代の著名人に関する教材が多く取り上げられており、京都市東山区の水引職人を教材化するなど、地域の伝統と文化の伝承や他者の生き方から自分の生き方を振り返ることができるよう構成されている。</p> <p>○各学年の教材やコラムに、洋の東西を超え、名声や業績を残した先人のエピソードが取り上げられるなど、自らを高め、自己を深く考えられるよう構成されている。</p>	<p>○伝統と文化に関する教材が最も豊富で、補充教材も複数用意されている。また、各学年の巻末に、「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」として、すべての都道府県からゆかりの人物を取り上げ、地域のために尽くした人々から学び、地域に愛着がもてるよう構成されている。</p> <p>○歴史や文化、スポーツなど様々な分野で活躍した先人が取り上げられるとともに、すべての都道府県のゆかりの人物とその名言を巻末資料で紹介するなど、道を切り拓いてきた人々の生き方や考え方に学び、自己を高める意欲を持てるよう構成されている。</p>	<p>○伝統と文化に関する先人や現代の著名人、実話等が多く取り上げられている。また、郷土玩具や世界遺産、茶道を学ぶ特設ページが設けられるなど、生徒が身近に捉えながら学習できる様々な地域題材や伝統と文化を取り扱った教材が発達段階に沿って、全学年に配置されている。</p> <p>○日本をはじめ、外国の先人も教材やコラム等で豊富に取り上げられるなど、先人の生き方や考え方を通じて、広い視野から人間としてよりよく生きることを考えられるよう構成されている。</p>	<p>○本教材で奈良筆や江戸の工芸品、京都の門掃きなど地域の伝統工芸や風習が取り上げられるとともに、特設ページ「プラットホーム」にも、各地の伝統工芸品や技術等が紹介されるなど、生徒が伝統と文化に関心をもって学習に取り組むことができるよう構成されている。</p> <p>○教材に加え、特設ページ「プラットホーム」で先人の生き方・言葉が紹介されるなど、先人たちの様々な生き方や苦悩、努力等を通して、人間として誇りある生き方を考えられるよう構成されている。</p>	<p>○特設ページ「クローズアップ」で、外国人から見た優れた日本の文化財の価値や、「ジャパンエキスポ」で日本の文化に魅了される外国人が多くいることなどが紹介され、自分が外国人に日本の文化を伝えるとしたら、何を紹介するだろうと問いかけるなど、生徒が多面的・多角的に学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各学年で複数の先人が教材として取り上げられており、先人たちの生き方からよりよく生きることの魅力や意味を考えられるよう構成されている。</p>	<p>○各学年巻末の特設ページ「よりよい未来をつくるために」「持続可能な社会をめざして」において、多様な日本の伝統と文化を守るための取組や国際的な協力事例が紹介されるとともに、生徒の地域行事への参加を促すなど、生徒に当事者意識をもって多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p> <p>○人間として生きることのすばらしさを感じ取れることを目的に、各学年で先人の伝記が取り上げられている。また、各教材では、発問後に先人の言葉が紹介されるなど、人間として弱さやずるさ、それを乗り越えようとする強さや気高さを考えられるよう構成されている。</p>	<p>○特設ページ「込められた思い」「もっと知りたい」等で、日本各地の題材が取り上げられるとともに、表紙・裏表紙には過去から受け継がれてきた日本の伝統と文化に関する写真、未来へとつながる新しい技術の写真が印象的に掲載されており、生徒が関心を高めながら、問題意識をもって学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○時代や国境を越えて、様々な分野の先人の伝記が各学年で多数掲載されており、様々な生き方を通して、生きることの魅力や意味の深さについて考えられるよう構成されている。</p>

【選定の観点5】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○リオ五輪で銀メダルを獲得した男子400mリレーやパラリンピックの佐藤真海選手が教材化されるとともに、注釈にリオ五輪で自らの性的性指を表明した選手が紹介されるなど、生徒の関心を高め、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p> <p>○情報モラルを扱った教材として、内容項目「友情、信頼」と関連付けた教材が各学年に用意されている。例えば、メッセージアプリの会話画面が掲載されるなど、生徒が実感をもって、多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックを舞台に活躍するアスリートやそれに関わる人々のチャレンジ精神や苦悩等が教材として取り上げられており、道徳的価値を理解し、自己を見つめる学習を深められるよう構成されている。</p> <p>○情報モラルを扱った教材については、深く考えてもらいたい大切なポイントや、視覚的にわかりやすいマークを用いて示すことで、生徒の意識付けを図りながら、主体的に、多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p>	<p>○生徒の自己を高めようとする意欲を培うことを目的に、東京オリンピック・パラリンピックに向けたアスリートの苦労や努力が教材化されるとともに、人を勇気づける多彩な分野のアスリートの言葉が紹介されている。</p> <p>○3年間を通して「情報とよりよくつき合う」がテーマとされ、情報機器の良い点や利用時に気を付けるべき点など、制度やきまりを守る大切さについて考える教材が配列され、問題意識をもって、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックで活躍したアスリートや過去の大会テーマソングの制作秘話が教材化されるとともに、年齢、性別、障がいの有無や程度によらず、多くの人々が楽しめる「アダプテッド・スポーツ」が紹介されるなど、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p> <p>○情報モラルを扱った教材について、3年間を通して、教材とコラムが系統的に取り上げられており、他の教材との関連付けが図られるなど、多面的・多角的に学習できるよう構成されている。</p>	<p>○自己を見つめ、高めようとする意欲を培うことを目的に、オリンピック・パラリンピックで活躍したアスリートが教材化されるとともに、コラムでアスリートの言葉や生徒に向けた生き方のヒントや応援メッセージが掲載されている。</p> <p>○情報モラルを扱った教材として、1年生では、漫画を用い、2年生では、同じストーリーの異なる登場人物からそれぞれの視点で考えさせるなど、発達段階を意識するとともに、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックで活躍したアスリートの教材が豊富で、各学年に教材やコラムが多数配置されている。また、用具製作の裏方に注目したり、障害者サッカーを紹介したりするなど、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p> <p>○SNSを通じたいじめ問題等、その扱い方の留意点とともに、熊本震災の際、安否確認等でSNSが有効であったというコラム等、SNSのメリットも積極的に紹介されており、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックや各種スポーツ競技が教材として取り上げられており、アスリート本人やそれを支えた人物にスポットをあてるなど、栄光の裏にある努力や苦悩を通して、人間として生きることのすばらしさを考えられるよう構成されている。</p> <p>○各学年巻末に、情報社会を生きていくための特設ページが設けられており、様々な視点からSNSやネットのあり方を考えさせるなど、多面的・多角的に考えることができるよう構成されている。</p>	<p>○東京オリンピック・パラリンピックに向けたアスリートやそれに関わる人物が教材化されるとともに、野球、柔道、剣道等の様々な分野からも人物を取り上げて、関連するエピソードを通して、人間の強さや弱さなどを感じ、考えられるよう構成されている。</p> <p>○友人同士のメッセージアプリの会話画面を用いた教材や、ネットコミュニケーションについて、家族・先生・友人とで話し合うことを提案するコラムなどが系統的に取り上げられており、多面的・多角的に考えられるよう構成されている。</p>

【選定の観点6】

基本的人権の尊重の視点からの内容が積極的に取り上げられ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○全学年を通して、生命の尊重や人間としてのあり方についての認識を深めたり、考えたりする教材が充実しており、実社会の事例を通して、個性の尊重や自主及び自律の精神、勤労や公共の精神等を重んじる態度が養えるよう構成されている。</p> <p>○いじめ問題に加え、生命尊重についても、1つのテーマで3教材を組み合わせたユニットを各学年で配置するなど、多様な側面から、生徒の人間や生命尊重の意識を高め、人を大切にすることについて深く考えられるよう構成されている。</p>	<p>○社会生活における共存共栄のあり方、生命の尊厳を題材とした教材が積極的に取り上げられており、身近な問題を通して、互いに尊重し、協力し合い、正義と責任、生命の意味を重んじる教材が豊富である。</p> <p>○各学年巻頭に、「学級づくり」とする特設ページが設けられ、「キミの悩みは私の悩み」などのテーマで、よりよい学級づくり・人間関係づくりを考えられるよう構成されている。</p>	<p>○全学年を通して、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培うことができる教材が重点的に配置されている。また、個人の価値の尊重について、「いじめや差別」などを扱う教材が体系的に配列されている。</p> <p>○仮想「けやき中学校」を舞台に中学生3人が、様々な学校生活を通して、葛藤したり、成長したりするシリーズが3学年を通して掲載されており、等身大の題材で悩みや葛藤を実感しながら、人間関係づくりなどを考えられるよう構成されている。</p>	<p>○全学年を通して、自他の生命を尊ぶ心の育成に重点が置かれている。3年生の教材では、人種等による差別や偏見を取り上げた読み物教材と資料を組み合わせることで、生命の尊さ、人間尊重の精神を深く考えられるよう構成されている。</p> <p>○特設ページで、年齢、性別、国籍、人種、障害の有無を問わず、誰もが使いやすいものをというユニバーサルデザインの理念を紹介したり、礼儀の心や、時、物、人、あるもの全てを大切に扱う茶道の心を普段の生活の中でどのように生かしていくのかを考えることを通して、よりよい社会のあり方について考えられるよう構成されている。</p>	<p>○生命あるものすべてのものを尊重する姿勢が全体に貫かれている。生命について、連続性や有限性に加え、自分が今ここにいる不思議（偶然性）、社会的関係性や自然界における他の生命との関係性など、多様な側面から考えられるよう構成されている。</p> <p>○障害者理解、高齢者福祉等の課題に関わる教材やコラムが豊富である。2年生コラムでは、「世界人権宣言」や「主な人権課題（法務省）」、男女共同社会、障害者福祉等を取り上げ、ともに協力しながらよりよく生きられる社会のあり方について考えられるよう構成されている。</p>	<p>○「いのちの教育」を全学年の重点テーマに掲げ、「自分の命」だけでなく、「他者の命」、「それらを支える様々な命」など多様な観点を通して、自他の生命を尊重し、他者とともによりよく生きることについて考えることを促している。</p> <p>○「地球と地域の未来のために」とするユニットで、人権をはじめ、環境、貧困、平和、開発といった様々な問題や課題への取組が取り上げられ、広い視野に立って、多様な側面から、よりよく生きることについて考えられるよう構成されている。</p>	<p>○全学年を通して、生命の尊重、基本的人権、思いやりの心など、人格の内面的な充実が図れるよう教材や発問が吟味・配慮されている。また、道徳教材として、長く読み継がれてきた名作や定番の教材が多数掲載されており、より深く道徳的価値について考えられるよう構成されている。</p> <p>○本冊の各教材の後に、先人や著名人の心に残る言葉が紹介されるとともに、別冊ノートの参考資料には、「世界人権宣言」や「人生の目標」の世論調査データ、武者小路実篤「一個の人間」詩などが掲載されており、前向きに生きるためのヒントや、基本的人権の尊重、よりよい社会のあり方について考えられるよう構成されている。</p>	<p>○多様な個性を持つ人間が社会において自立して生きていくため、よりよい生き方について、多面的・多角的に考え、話し合うことも目的に、各学年に、人権、障害者理解、福祉、人間関係にかかる教材が体系的に配列されている。</p> <p>○性同一性障害に悩む主人公を題材にした教材は、一人一人の個性と個人の能力をいかに伸ばし、いけるかについて考えを巡らせる内容となっており、教材後の特設ページでは、「人は違う。それでいい。」として、LGBTを含め、皆が違いを受け入れる社会の実現に向け行動することについて考えられるよう構成されている。</p>

【選定の観点6】

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
<p>○教材「あの子のランドセル」(2年生)は、自分が小学生のときにいじめの加害者であったが、その被害者である子と友だちになり、自分の行動に対して心を痛めるという内容で、生徒の身近に起こり得る行為を題材に、自分の行動の酷さやなぜしてしまったのだろうという悩みや葛藤を考えられるよう構成されている。</p> <p>○「尊厳死」を巡る米国の裁判事件を題材した教材、社会で活躍する先輩の話を紹介する付録資料、「子どもの権利条約」など、多様な視点から、人間の生と死、権利、自らの生き方を考えられるよう構成されている。</p>	<p>○内容項目を概括する「心の扉」において、「誇りのある生き方とは」「互いを尊重し合えば、自分も相手も成長できる」「相手の個性を認め、互いに学び合う」など、生徒にわかりやすい言葉を用いて訴えるとともに、書く欄や資料等も用意されており、指導が展開しやすい。</p> <p>○教材「自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること」(2年生)では、セクシュアル・マイノリティを題材に、様々な生き方があること、共に生きることを深く考えられるよう構成されている。</p>	<p>○いじめに関する教材の後に、少年兵や飢餓に苦しむ世界の子どもの写真を掲載したり、「死刑制度」について、世界の状況や国内の世論調査等のデータを用いて考えさせたりするなど、広く世界に視野を広げ、基本的な人権や人間としての尊厳について考えを深められるよう構成されている。</p> <p>○特設ページ「やってみよう」で、自分にとって大切な人やその大切な人が自分に大切にしてほしいことなどについての話し合い活動を促したり、社会でのマナーやエチケットの体験活動を提案したりするなど、身近な人や事例から、人を大切にしたいやよりよい社会のあり方について考えられるよう構成されている。</p>	<p>○孟子と荀子の性善説と性悪説を取り上げた教材や、世界の子どもたちと日本に暮らす子どもたちを平均寿命や就学率等のデータで比較したコラムなど、生徒が自分の生き方を見つめ直し、問題意識をもって人権について深く考えられるよう構成されている。</p> <p>○各学年の巻末に、著名人からの直筆の応援メッセージが掲載されており、自分自身の将来に目を向け、生きる希望をもって、よりよく生きることの価値や喜びを感じられるよう構成されている。</p>	<p>○特設ページ「プラットホーム」では、LGBTなど様々な性のあり方や、詩人・金子みすずの「違いを認め合う」詩の紹介に加え、先人やアスリートの言葉が紹介されており、生徒が人間としての生き方について、深く考えられるよう構成されている。</p> <p>○4コマ漫画「ブッダとシツカブッダ」を用い、ありのままの自分を見つめ、信じることの大切さを訴えたり、同じストーリーで2人の登場人物それぞれの視点で描かれた物語で、人間関係について考えさせたり、悩み、心揺れながら、人間としての生き方を考えられるよう構成されている。</p>	<p>○特設ページ「クローズアップ」では、家の人になかなか伝えられない気持ちを表した三行詩や、生徒に身近な事例を題材として、様々な悩みや葛藤も「見方を変えると心がグンと楽になる」と提案するなど、人間愛や人としての生き方について深く考えることができるよう構成されている。</p> <p>○3年生では、「夢の地図」を書いてみよう」として、自分の目標を達成するために必要なことを9マスの表にまとめ、できることを具体的に書くことや、目標に向かって努力することや、生きる喜びや本当の勇気を考えるコラムが用意されている。</p>	<p>○各学年巻末の特集ページ「よりよい未来をつくるために」では、異なる文化や価値観を尊重し合う「異文化理解」や、貧困、飢餓、差別、人権侵害で苦しむ世界中の人々が紹介されており、基本的人権や人間としての尊厳について考えを深められるよう構成されている。</p> <p>○タレントの春名風花さんのいじめの実験を扱った教材や、哲学者カントとルソーを教材化し、自律的な生き方、生きる喜びを考え、「人間であることの証をできるだけたくさん挙げてみよう」と問いかけるなど、人間としてのよりよい生き方を考えられるよう構成されている。</p>	<p>○障害者理解について、2年生では、障害のある方が日常に経験する複数の事例を考え、3年生では、同年代の4人が「支え合いは当たり前」をテーマに討論する内容が教材化されている。また、「障害者差別解消法」「合理的配慮」「インクルーシブ教育」の理念が紹介されるなど、基本的人権について、体系的に学習できるよう構成されている。</p> <p>○特設ページ「私のいいところはどこ？」では、リフレーミング手法を用い、短所を長所に置き換えることが紹介されており、見方を変えることで、それぞれ違う個性を持つ存在が互いを尊重し、共に安心して暮らせる社会とは何かを考え、話し合うことにつなげている。</p>

【選定の観点7】

表記や表現について、文章や挿絵、写真等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
○横幅の広いA B版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○横幅の広いA B版で文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。図表等は細かい部分も見分けがつきやすい配色である。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。文字は独自の「光村明朝体」を使用している。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいが、 <u>挿絵やイラストの数が多く、色使いも派手な印象である。</u>	○A4版で、文字の大きさ、字間、行間は読みやすいが、 <u>サイズの割に余白が少なく、見やすい印象を受けない。</u>	○横幅の広いA B版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいが、 <u>本文の背景に写真を掲載しており、見づらい箇所がある。</u>
○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がある。
	○一部教材の本文の注釈（*マーク）が、必ずしも必要ではない語句にまで付されているため、読みづらい。	○一部教材に必要な注釈が示されていない。（未曾有、悠久、進駐軍、胆囊など）		○別冊ノートは、鉛筆で書きやすい紙質が採用されているが、本冊は右開き、別冊ノートは左開きのため、使いにくい。		○別冊ノートは、鉛筆で書きやすい紙質が採用されている。	○一部教材に必要な注釈が示されていない。（ <u>鑄造、反射炉、戦慄など</u> ）
○再生紙と植物油インキが使用され、造本も堅牢である。	○環境に配慮した紙と植物油インキが使用され、造本も堅牢である。	○再生紙と植物油インキが使用され、バイオマスで発電されるグリーン電力で印刷されている。造本も堅牢である。	○環境に配慮した紙と植物油インキが使用され、造本も堅牢である。	○再生紙と植物油インキが使用され、造本も堅牢である。	○環境に配慮した紙と植物油インキが使用され、造本も堅牢である。	○再生紙と植物油インキが使用され、造本も堅牢である。	○造本は堅牢であるが、 <u>再生紙や植物油インキの使用など環境に配慮されているか不明である。（本冊に明記されていない。）</u>
○ユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。また、文節の区切りやデザイン構成にも配慮がみられる。	○ユニバーサルデザイン書体が用いられ、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○カラーユニバーサルデザインに配慮され、認証マークも取得している。また文節の区切りや見分けのつきやすい配色等にも配慮されている。	○カラーユニバーサルデザインに配慮され、専門家の校閲を受けている。また、独自の明朝体を用いるなど、文字や書体にも配慮がみられる。	○ユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○ユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○ユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○一部、 <u>配色やデザインで見づらい箇所がある。カラーユニバーサルデザイン等に配慮されているか不明である。（本冊に明記されていない。）</u>